

東日本大震災・原子力災害伝承館 館内語り部講話スケジュール

11月	午前 ①10：00～ ②11：15～	午後 ③13：15～ ④14：30～
1 土	震災・避難・現在の歩み（富岡町）	原発から25キロに住む1人として（南相馬市）
2 日	震災紙芝居（浪江町）	東日本大震災 娘との日々（富岡町）
3 月	震災・原発事故を語る（双葉町）	震災当日の行動と教訓及び復興事業について（いわき市）
4 火	休 館 日	
5 水	東日本大震災と避難生活の実態（浪江町）	『残照』～震災の記憶～（相馬市）
6 木	生きのびるために（双葉町）	長い避難生活を支えた励ましの数々（富岡町）
7 金	福島第一原発事故における病院避難について （東京都※本人の被災体験ではなく聞き取りした内容です）	双葉の子どもたち（双葉町）
8 土	当時11歳にとっての東日本大震災（富岡町）	あの日を 忘れない それが備えの第一歩 ～震災の経験から伝えたいこと～（南相馬市）
9 日	震災経験とその後の活動（南相馬市）	自分の命を守る（いわき市）
10 月	私の震災体験とそれから「仙台港での大津波、多賀城の職場、 相馬の実家、そして大切な家族」（相馬市）	紙芝居で伝えたいこと（浪江町）
11 火	休 館 日	
12 水	『残照』～震災の記憶～（相馬市）	復興を支える 人の繋がり（富岡町）
13 木	生きのびるために（双葉町）	あの日から13年間の久之浜町 そしてこれからは…（いわき市）
14 金	あの日の震災から学んだこと（富岡町）	役場職員 震災直後の7日間（浪江町）
15 土	10：00～ 震災後の2日間とその後（大熊町） 11：15～ 震災・原発事故から復興へ（大熊町）	13：15～ 震災後の2日間とその後（大熊町） 14：30～ 震災・原発事故から復興へ（大熊町）
16 日	震災と私 ～その時、私の周りで起きたこと～（双葉町）	原発事故が学校にもたらしたもの（南相馬市）
17 月	伝統文化存続の危機と伝承（双葉町）	原発から25キロに住む1人として（南相馬市）
18 火	休 館 日	
19 水	震災経験とその後の活動（南相馬市）	東日本大震災～あの日から14年が過ぎて（南相馬市）
20 木	東日本大震災と避難生活の実態（浪江町）	あの日を 忘れない それが備えの第一歩 ～震災の経験から伝えたいこと～（南相馬市）
21 金	震災発生から全町避難を振り返って（富岡町）	震災時の体験と伝えたいこと（大熊町）
22 土	変わりゆくふるさと それでも前を向いて（双葉町）	あの日から13年間の久之浜町 そしてこれからは…（いわき市）
23 日	紙芝居『菜の花物語』（南相馬市）	自分の命を守る（いわき市）
24 月	ふるさとで暮らす（大熊町）	震災当日の行動と教訓及び復興事業について（いわき市）
25 火	休 館 日	
26 水	東日本大震災から考える防災と社会課題（大熊町）	東日本大震災～あの日から14年が過ぎて（南相馬市）
27 木	置き去りにされた動物（浪江町）	「当たり前」はない（大熊町）
28 金	伝統文化存続の危機と伝承（双葉町）	役場職員 震災直後の7日間（浪江町）
29 土	当時11歳にとっての東日本大震災（富岡町）	東日本大震災原発事故により避難した体験を ダンボールアートを通して語り伝える（富岡町）
30 日	防災意識を高めよう。みんなと、自分を！（南相馬市）	東日本大震災 娘との日々（富岡町）

※タイトル横の（ ）内は語り部の震災当時の居住地です。

※スケジュールは2025/10/30現在のものです。

やむを得ない事情により、変更・中止、講話映像の上映となることがあります。